

幸運を呼ぶ高さ約 130cm の招き猫「渋谷猫張り子」が渋谷フクラスに常設展示 作者・吉田朗の個展「Empty Bears」も 9 月 7 日より渋谷ヒカリエで開催

現代美術家のマネジメントや展覧会企画などを行うユカリアートは、2026 年 9 月 7 日(月)から 9 月 13 日(日)まで、渋谷ヒカリエ 8/CUBE にて、吉田朗の個展「Empty Bears – A Mirror of Our Time 日々を映す空っぽのくまたち」を開催します。本展では、くまをモチーフとした新たな作品シリーズ「Empty Bears」より約 30 点の新作を発表します。

また、2026 年 8 月 18 日(火)より、吉田が制作した一点物の立体作品「渋谷猫張り子(愛称:しぶねこ)」の常設展示を、渋谷フクラス 1 階の観光案内所「shibuya-san」にて開始しています。

渋谷の新たな福を招く存在「渋谷猫張り子」



shibuya-san に常設展示された「渋谷猫張り子」

高さ約 130cm の大きな招き猫「渋谷猫張り子(愛称:しぶねこ)」は、2020 年 4 月に誕生しました。

渋谷の商業施設からの依頼を受けて制作された本作は、渋谷で長く愛される「ハチ公」像への敬意を込め、同じように末永く人々に愛される作品となることを目指して制作・設置されました。

その後、「しぶねこ」は思いもよらない出来事に見舞われます。紅白の縁起の良い姿から、全身が真っ黒い姿へと変えられてしまったのです。

この出来事を受け、「猫ちゃんをもとの姿に戻してあげて」といった心配の声や、作者・吉田朗を応援する声が日本全国から寄せられました。

多くの方々から寄せられた温かい応援を受け、吉田は7か月にわたって修復作業に取り組みました。そして「しぶねこ」は、再び元の愛らしい姿を取り戻しました。

逆境を乗り越えて蘇った「渋谷猫張り子」は、幸運を招く存在であるとともに、再生の象徴として新たな物語を刻む作品となったのです。

新たな展示場所は「渋谷フクラス」

「渋谷猫張り子」の新たな展示場所となった渋谷フクラス。その名称には、「膨らす」という言葉にちなみ、渋谷を訪れるすべての人の幸せを大きく膨らませたいという願いが込められています。

「しぶねこ」は、渋谷フクラス1階の観光案内所「shibuya-san」に、目の前にある渋谷駅西口バスターミナルを臨む形で常設展示されています。

「shibuya-san」の営業時間は10:00～20:00ですが、営業時間外でもガラス越しに作品を鑑賞することができます。渋谷駅からすぐで、空港からのリムジンバスの発着もある渋谷駅西口バスターミナルの目の前というアクセスの良さも魅力です。「渋谷猫張り子」の新たな住処としてこれほどふさわしい場所はありません。

展示概要

- **作品名**: 渋谷猫張り子(愛称:しぶねこ)
- **展示開始日**: 2026年8月18日(火)より常設展じ
- **設置場所**: shibuya-san(渋谷フクラス1階)
- **営業時間**: 10:00～20:00 ※営業時間外もガラス越しに鑑賞可能
- **住所**: 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-2-3 渋谷フクラス1F
- **アクセス**: 渋谷駅より徒歩すぐ(JR、東急、東京メトロ、京王井の頭線)／渋谷駅西口バスターミナル前
- **渋谷フクラス公式サイト**: <https://www.shibuya-fukuras.jp>
- **shibuya-san 公式サイト**: <https://shibuya-san.co.jp>
- **渋谷猫張り子公式サイト**: <https://shibuyanekohariko.jp>

「しぶねこ」の作者・吉田朗による個展「Empty Bears」を渋谷ヒカリエで開催

「渋谷猫張り子」の作者である吉田朗は、樹脂で制作した中空のオブジェの表面に絵を描く独自の手法で、数々の立体作品を発表してきました。

愛らしいフォルムと精巧な彩色による作品の表面には、社会問題から都市の風景まで、私たちを取り巻くさまざまな情景が描かれています。

吉田は、作品を通して自身の思想や主張を直接的に語ることはありません。美しい外観とは対照的に、作品の内部をあえて空洞とすることで、現代社会の危うさを示唆する一方で、表面に描かれる色彩やイメージは、自身の感性が捉えた世界を淡々と描いています。その意味や解釈は鑑賞者一人ひとりに委ねられており、それぞれの視点から自由に作品と向き合うことができます。

本展では、くまをモチーフとした新たな作品シリーズ「Empty Bears」より、約 30 点の新作を発表します。

展覧会概要

- **展覧会名** : Empty Bears – A Mirror of Our Time 日々を映す空っぽのくまたち
- **作家** : 吉田朗
- **会期** : 2026 年 9 月 7 日(月)～9 月 13 日(日)
- **会場** : 渋谷ヒカリエ 8/CUBE
- **開館時間** : 11:00～20:00 会期中無休
- **入場料** : 無料
- **住所** : 〒150-8510 東京都渋谷区渋谷 2-21-1 渋谷ヒカリエ 8 階



Empty Bears - A Mirror of Our Time 日々を映す空っぽのくまたち 吉田 朗 個展

作者・吉田朗について



吉田朗(よしだ あきら)

1976 年:神奈川県出身

2002 年：多摩美術大学美術学科彫刻学部卒業

主に FRP などで作成した中空のオブジェにエアブラシでペイントを施した立体作品を制作。香港の地下鉄駅構内や、渋谷フクラス 1 階の「渋谷猫張り子」、西銀座チャンスセンターに設置されている「宝猫」など、パブリックアートの分野でも活躍。

吉田朗公式略歴ページ：<https://yukari-art.jp/jp/artists/akira-yoshida>

渋谷で、吉田朗の作品に触れる

渋谷を訪れる人を出迎え、見守る招き猫「渋谷猫張り子」と、くまをモチーフとした新作を展示する「Empty Bears」。

一点物の大きな招き猫と、近未来的な姿をした約 30 点の小さなクマ。それぞれ異なる魅力を持つ作品を通して、吉田朗が表現する世界に触れることができます。

渋谷を訪れる皆様に、作品との出会いとともに、幸せや新たな発見が訪れることを願っています。



渋谷フクラスに常設展示となった「渋谷猫張り子」



くまをモチーフとした新たな作品シリーズ「Empty Bears」



くまをモチーフとした新たな作品シリーズ「Empty Bears」

ユカリアートについて

東京を拠点に、現代美術家のマネジメントをはじめ、展覧会の企画・開催、美術作品の販売などを行う会社です。

2005 年の設立以来 20 年以上にわたり、「少ない数のアーティストを丁寧に対峙」ことをモットーに、真摯に活動を続けています。

設立当初は、国内外の幅広い世代・ジャンルのアーティストの作品を取り扱い、各国大使館が管轄する文化機関での展覧会の企画・展示など、国内外の文化交流にも携わってきました。

2007 年には、マネジメントするアーティストを日本を拠点に活動する若手現代美術家に絞り込み、今に至る活動方針を確立しました。

現在は、いしかわかずはる、大畑伸太郎、藤永結、吉田朗、淀川テクニクの 5 名の作家が在籍し、それぞれが国内外のさまざまな場所で活躍しています。

ユカリアート公式サイト : <https://yukari-art.jp>

展覧会に関するお問い合わせ

下記より、お問い合わせフォームをご送信ください。

ユカリアートお問い合わせフォーム : <https://yukari-art.jp/jp/info>